

デジタル田園都市国家構想交付金事業

＜令和 5 年度～7 年度事業実績＞

【事業の名称】

若者の人材循環を起点としたまちづくりプロジェクト

【事業実施背景・目的】

本町は、平成 26 年に国内外の大学生・高校生が参加するサマースクールの開催を契機に、学生主体の団体である NPO 法人ひとつむぎの誕生をはじめ、学生活動が活発化、コロナ前には、年間延べ 1,000 人以上の学生が活動を行った。

約 8 年間に及ぶ大学・学生団体等との連携事業の中で、活動参加者の中・高・大学生が町職員や大学生、全国各地で活躍する若手社会人となり、本町の担い手としての活動や、「里帰り」的に地域を訪れリモートワークを行うなど、若者の人材循環が生まれ始めている。

若者の人材循環は、地域に風を通す。「地域課題」を「支点」、「若者の活動」を「力点」、「地域・地域住民」を作用点として捉え、地域課題に対する若者の活動が、地域住民の交流や地域活動・地域コミュニティの活性化、地域課題解決に向けた取り組みの創出など、地域全体を巻き込んだ「まちづくり」を目指す。また、多様な若者が交流する中で、お互いに成長し、牟岐町出身でなくても「第二のふるさと」として、安心して帰ることができ、関わり続けられる地域を目指す。

牟岐町住民、牟岐町ふるさと会員、牟岐町ゆかりの若者が、牟岐町に対する「愛郷心」を共有し、「どこにいても」まちづくりに参画できる「先進的な少数社会」の実現に挑戦する。

【事業主体】

牟岐町

【事業実施期間】

地域再生計画認定日である令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの（3 カ年度）

【事業内容】(1) 第二のふるさと創出事業

① 牟岐町ゆかりの若者が、地域と繋がり、関わりを持ち続けられるための地域内外での受け入れ環境の整備

- ② 牟岐町の地域課題解決に向けて、大学・学生団体・個人学生・若手社会人等と牟岐町役場各部署、地域、関係機関等が連携して実施する事業
 - ③ 関西圏や都市部などにおいて、牟岐町との関係性を築き、第二のふるさと創出につながるイベント、企画、セミナー等を開催する事業
- (2) 「牟岐の場」創出事業
- ① 牟岐町や関西圏において、牟岐町ゆかりの方々が営む飲食店などを、牟岐ゆかりのお店（名称未定）として登録する仕組み等を整備する。また、登録されたゆかり店や、関西圏を中心として、牟岐ふるさと会員・若者人材・都市部人材などが集まり、地域課題や実情の共有を通じて、交流を深めることのできる「場」の創出、多様な人材が交流できる企画、イベントを実施する
 - ② 牟岐ふるさと会・若者人材・都市部人材等が、地域課題に対して多様な視点から議論し、解決を目指すためのイベント、企画、セミナー等を開催する事業
- (3) ふるさとの未来創造・発信事業
- ① インターネットを活用したデジタル情報や、牟岐町内のアナログ掲示板を活用し、牟岐町民、牟岐ふるさと会、牟岐ゆかりの若者、牟岐町関係機関をはじめ、町内外の支援者が町内の課題の共有を行うための取材や情報発信を行う。課題の抽出や解決に向けての議論は、牟岐ふるさと会を起点に行い、議論の内容や、生まれた活動内容などは、デジタル媒体・アナログ媒体を活用した情報共有を行うことで、双方向の相互連携を促す。また、本町の日常風景、空き家バンク、仕事に関する情報、子育て支援などの移住につながる情報や、新たに牟岐町に興味を持った人材の受け入れにつながる取材や情報発信を行う。

令和 5 年度 (1 年目)	初年度は、本事業実施の組織体制の構築段階と位置付ける。 牟岐町関係機関（商工会・観光協会・J A 等）と連携した牟岐町関係人口受け入れサポーター組織（名称未定）を設立し、牟岐町ゆかりの若手人材などが、牟岐町に滞在しながら、地域課題と向き合うことができる環境の整備を行う。 また、大学連携を進め、地域課題を地域・都市部それぞれのアプローチで解決していくための企画の実施や、地域（牟岐町役場各部署、牟岐の子どもを育てる会など）と連携した事業を実施し、関係人口の拡大、若者の人材循環を促す。 若者の人材循環や地域課題解決に向けた取り組みの取材・情報発信を行い、牟岐町ゆかりの方々に情報を届けるとともに、新たな関係人創出等に繋げる。
-------------------	--

	(1) <u>第二のふるさと創出事業</u> ¥4,600,000 円 ① 牟岐町ゆかりの若者が、地域と繋がり、関わりを持ち続けられるための地域内外での受け入れ環境の整備 ¥2,000,000 円 ② 牟岐町の地域課題解決に向けて、大学・学生団体・個人学生・若手社会人等と牟岐町役場各部署、地域、関係機関等が連携して実施する事業 ¥2,100,000 円 ③ 関西圏や都市部などにおいて、牟岐町との関係性を築き、第二のふるさと創出につながるイベント、企画、セミナー等を開催する事業 ¥500,000 円 (2) <u>「牟岐の場」創出事業</u> ¥2,216,935 円 ① 牟岐町や関西圏において、牟岐町ゆかりの方が営む飲食店等を、牟岐ゆかりのお店（名称未定）として登録する仕組み等の整備や企画実施に係る経費 ¥792,000 円 ② 登録された牟岐ゆかりのお店や関西圏を中心として、牟岐ふるさと会員・若者人材・都市部人材などが集まり、地域課題等の共有を通じて、多様な人材の交流促進につながる「場」の創出に関する企画、イベント実施に係る経費 ¥924,935 円 ③ 牟岐ふるさと会・若者人材・都市部人材等が、地域課題に対して多様な視点から議論し、解決を目指すためのイベント、企画、セミナー等を開催するために係る事業実施に必要な経費 ¥500,000 円 (3) <u>ふるさとの未来創造・発信事業</u> ¥1,721,280 円 ① デジタル・アナログ双方の情報発信媒体を活用し、牟岐町内外で起こるプロジェクトや、事業者（お店）、移住に関する情報などの取材・情報発信に係る経費 ¥1,221,280 円 ② 牟岐町の「ヒト」「コト」にフォーカスし、牟岐町の未来を創造につながる PR 動画の作成に関する経費 ¥500,000 円 計 8,538,215 円（交付金対象事業費：8,538,215 円）
--	---

KPI に対する 実績等	KPI	実績
	牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した牟岐町ゆかりの若者（大学生・若手社会人）の数 5 人/年	316 人/年
	牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数 5 件/年	10 件/年
	「牟岐の場」の創出件数 3 件/年	4 件/年
	地域体験型のふるさと納税返礼の登録件数 3 件/年	7 件/年

令和 6 年度 (2 年目)	2 年目は、受け入れサポーター組織を強化する。地域事業者や地域コミュニティ主催者を含めた運営体制の整備を進め、牟岐町で活動する大学生・若手社会人等が、地域住民との関係性を深め、祭りなどの地域行事に担い手の立場で参加するなど、地域持続に向けた具体的な関わりを創出する。 また、大学・学生団体・個人学生・若手社会人等と地域（牟岐町役場各部署、牟岐の子どもを育てる会等）が連携した事業の継続し、受け入れサポーター組織を中心に抽出された、地域全体で認識されている課題と向き合う。 また、関西圏や都市部などで創出された「牟岐の場」で、情報共有だけではなく、具体的な地域の応援につながるイベントや企画を実施し、地域事業者と連携した地域資源の掘り起こしの中で開発された「体験型のふるさと納税」などを通して「里帰り」に繋げる。地域・都市部それぞれのアプローチによる地域課題解決に向けた取り組み等の情報共有の中で「どこにいても」牟岐町と繋がりを感じられる環境を整える。	
	KPI	実績
	牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した牟岐町ゆかりの若者（大学生・若手社会人）の数	

KPI に対する 実績等	10 人/年	
	牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数 5 件/年	
	「牟岐の場」の創出件数 5 件/年	
	地域体験型のふるさと納税返礼の登録件数 4 件/年	

令和 7 年度 (3 年目)	3 年目は、受け入れサポーター組織が継続的に運営できる体制を整備するとともに、受け入れサポーターが中心となり、若者人材を地域の担い手として、地域主体で受け入れるための仕組みづくりに取り組む。大学・学生団体・個人学生・若手社会人と地域（牟岐町役場各部署、牟岐の子どもを育てる会等）が連携した事業についても、各プロジェクトの単発的な実施ではなく、各プロジェクトが交差し相乗的な効果を発揮させながら地域課題の解決を目指す。 また、都市部や関西圏に生まれた「牟岐の場」を牟岐の拠点的に機能させ、「どこにいても」牟岐が日常的に感じられる仕組みを構築する。さらに、新たな牟岐のファン（交流人口・関係人口）を増やし「体験型のふるさと納税」の活用の中で、地域来訪者の増加、地域経済の活性化などに繋げる。	
KPI に対する 実績等	KPI	実績
	牟岐町に滞在しながら、地域と繋がり、地域活動に参加した牟岐町ゆかりの若者（大学生・若手社会人）の数 15 人/年	
	牟岐町ゆかりの若者、牟岐ふるさと会を起点に起きたプロジェクト数 5 件/年	
	「牟岐の場」の創出件数 5 件/年	

	地域体験型のふるさと納税返礼の登録件数 5 件/年	
--	------------------------------	--